

環境学習講座（会場：品川区環境情報活動センター、品川シアター）

身近な自然観察～鳥・花・虫を楽しむ～

6月16日(火) 講師：自然観察大学副学長 唐沢孝一氏
自然保護活動についての話と、写真を見ながら自然観察のノウハウを分かりやすく解説していただきました。

一昔前には国内で見たことのないチョウや昆虫が、最近はずいぶん増えてきています。写真のチョウも、もともとは近畿以南にいたものが温暖化により北上し、今では関東地方でも当たり前に見ることができるようになりました。

生物は複雑な環境条件の中で生きているのですが、南方系の生きものが日本で越冬できる条件が揃ってきたということです。昆虫や鳥などの生態系によっても環境の変化が見てとれます。



太陽光エネルギーで目玉焼きを作ろう

7月26日(日) 講師：コウトウENG代表 藤沢宏吉氏
厚手の銀紙の裏面に引かれた切り取り線に沿って切り取ります。それを円錐状に丸めて所定の位置にテープを貼ると陣笠ソーラーカッカー本体の出来上がりです。

実験方法は、生卵を黒い布に包み、テープで止め、ガラス瓶の底に置きます。その瓶の上にプリンカップを乗せ、生卵を入れて同時クッキングの開始です。プリンカップには目玉焼き、瓶の中ではゆで卵が出来上がりました。

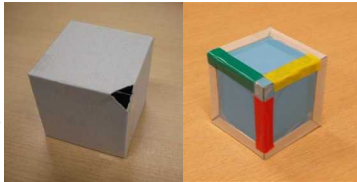
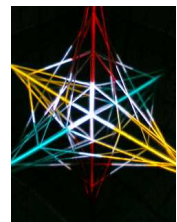
講座では実験をして既に出来上がった物をご覧いただきましたが、皆さんには陣笠ソーラーカッカー本体、プリンカップ、ガラス瓶をお持ち帰りいただきましたので、好天時には各家庭で目玉焼きやゆで卵を作ってくださいました。



ワンダーBOX万華鏡

6月28日(日) 講師：千葉県立船橋法典高校 船田優氏
一般の筒形万華鏡とは異なり、箱型（立方体）の万華鏡です。

材料はシート状のミラ、ボール紙、ビニールテープなどで、ミラ以外は身近にあるものです。ミラの裏面をドライ



パ等で削り取りますが、それによって見え方が変わり、オリジナルのデザインを楽しむことができます。今回は12本の直線で削り取り、赤・緑・黄色のビニールテープを使用しました。角の部分から中をのぞくと、キレイな色の世界が広がりました。

牛乳パックでハガキをつくろう

「牛乳パックリサイクル講習会」7月17日(金)

牛乳パックリサイクルは、一人の主婦の「もったいない」という考えから始まりました。牛乳パックの再利用を通して子どもたちに「ものを大切にすることを教える」というのが基本理念です。紙パックのリサイクルはいろいろありますが、一番量が多いのは店頭回収です。なお回収率では学校給食の75%が最高です。

講義の後、牛乳パックで作ったパルプを使ってハガキを作りました。細かくゆらして厚さを均一にするにはコツがあります。講師の方々に教えていただきましたので、好天時には各家庭で目玉焼きやゆで卵を作ってくださいました。



品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

「海流 / 海の中にある流れがどんなことを起こすかな？」

水そうに流れ（海流）を起こして、海に捨てられたごみの動きを観察します。

日時 / 9月27日(日) 14時～16時
対象 / 小学生

「オランウータンと自然を守る活動」

オランウータン等絶滅危惧種の救出や生態系保全に向けた活動を紹介します。

日時 / 10月11日(日) 14時～16時
対象 / 一般（親子での参加も可）

「秋の寄せ植え」

日時 / 10月16日(金) 13時半～15時半
対象 / 一般

講座の名称はいずれも仮称です。応募方法等については「広報しながわ」、「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2009年度Vol.2

発行：品川区都市環境事業部
編集：特定非営利活動法人 エコタウンしながわ
発行日：平成21年8月31日
住所：〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区環境情報活動センター内
TEL/FAX：03-5742-6533
E-mail：center@shinagawa-eco.jp
HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

品川区環境情報活動センターを利用しませんか

センターのご利用について

環境に関する活動をする団体もしくは個人どなたでも無料でご利用いただけます。セミナー(会議室)の他、数人の方でご利用いただけるミーティングコーナー、環境に関する書籍・雑誌等を備えた資料コーナーがあり

ます。セミナーの予約については当センター窓口、あるいは下記ホームページで受け付けています。(http://shinagawa-eco.jp/)



2009年度 Vol.2

夏休み子ども環境学習講座

品川区環境情報活動センターでは区民を対象とした環境学習講座を開催しております。夏休みには子ども参加の2講座を開催しました。

キッチンからはじめるエコロジー

8月3～5日、品川介護福祉専門学校で開催されました。

指導は東京ガス株式会社南部支店 E・クッキングインストラクターの皆さんです。

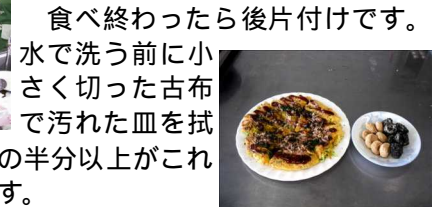
身近な「食」を通して楽しみながら環境問題を考えようというこの講座には、子どもと保護者計129名が参加しました。調理室は連日美味しい香りと、元気な子どもたちの熱気でいっぱいでした。

環境に配慮した「買物」・「料理」・「片付け」に至る一連の流れの説明と調理のデモンストラクションが行われました。旬の食材を買う、無駄なく使う、省エネな湯の沸かし方、洗い方の工夫で水を節約、フタをごみ入れとして使用、汚れた皿は古布で拭いてから洗うなど、誰にでもできるエコなポイントがたくさんあります。



それでは実習開始です！みんな嬉しそう～今年のメニューは「エコノミ焼き」と「エコだんごきょうだい」の二品です。どちらもうまくできました。「エコノミ焼き」は桜えびの香りがしてすごく美味しそうです。

食べ終わったら後片付けです。水で洗う前に小さく切った古布で汚れた皿を拭き取ります。汚れの半分以上がこれで落ちてしまいます。



身近な「食」の中で、私たちにできるエコはたくさんありました。ひとりのエコは少しでも、みんなですれば大きなエコになります。気づきの多い講座でした。

気象予報士から学ぼう ストップ、地球温暖化

7月24日と8月8日、環境情報活動センターで開催されました。講師は気象キャスターネットワークの気象予報士 武田恭明さんと長島純子さんほかです。



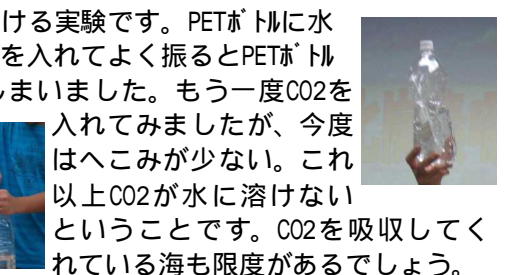
この100年で地球の気温は0.7℃、日本は1℃、東京は3℃高くなっています。温暖化の原因は二酸化炭素！実験では空気と二酸化炭素(CO2)の箱を同時に暖め、その温度変化を比較しました。5分間で1℃の差が出ました。(空気:41.2℃、CO2:42.2℃)やはり目には見えなくてもCO2は温暖化の原因物質のようです。

白熱灯は蛍光灯より電力消費が大きいことを体感する実験です。手回し発電器で蛍光灯は1人でも点きましたが、白熱灯は3人でやっと点きました。今日勉強したことをエコウチわに絵や文字で表現しました。

CO2が水に溶ける実験です。PETボトルに水とボウバのCO2を入れてよく振るとPETボトルはへこんでしまいました。もう一度CO2を入れてみましたが、今度はへこみが少ない。これ以上CO2が水に溶けないということです。CO2を吸収している海も限度があるでしょう。

海面上昇実験です。ワスコの中に青色の水が入っています。この周りに湯を入れると色水は暖まり、ワスコの上につけたガラス管を上げてきます。しばらくすると、暖められて体積が増えた水が細いガラス管の先端からあふれ出ました。

いろいろな実験を通して地球温暖化について学びました。



太陽エネルギー見本市 開催

7月25日から29日の5日間、「見て」「聞いて」「触れてみて」をキャッチフレーズに、しながわ中央公園（25、26日）と区役所第二庁舎3階ロビー、環境情報活動センター（27～29日）で開催されました。

本間副区長の開会宣言に続くテープカットで太陽エネルギー見本市はスタート。前日までの雨天から打って変わって太陽がまぶしく照り付け、当日イベントに相応しい好天になりました。



25社の出展企業・団体の紹介コーナーでは、来場者が熱心に説明に耳を傾けていました。



住宅用太陽光発電システム、次世代型ソーラー給湯システム、太陽電池の紹介、太陽熱利用のススメ、住まいの省エネ相談、省エネ・節約のヒントのコーナー、また住宅用太陽エネルギー利用機器補助制度の案内などがありました。子どもに人気の電気自動車「Soft Q Car」もイベントの盛り上げに一役買ってくれました。



環境情報活動センターのセミナールームでは「太陽光発

電システムとは」(25日)、「太陽エネルギーの機器を設置するときのメリット」(26日)をテーマにセミナーが開かれ、それぞれ20名ほどの参加者がありました。

また10歳以上を対象とした「夏休みソーラー工作教室」が3日間(27～29日)開催され、各回約30名が参加してソーラーF1(ソーラーカー)作りに挑戦しました。



打ち水大作戦・しながわ2009

7月25日(土) 15:30から「打ち水大作戦・しながわ2009」の「一斉打ち水」が宮前商店街で開催されました。



当日は前日までと

は打って変わって晴天の中、打ち水が始まりました。カウントダウンの前から地元サッカーチームの仲間の元気な声が飛び交っていました。



打ち水に使用した水は区で用意した井戸水、豆腐屋さんからの再利用水、それぞれが持ち寄った風呂の残り湯などで、水道水は使いません。これが打ち水のルールです。

打ち水前後の温度の変化は、周囲の気温はあまり変わっていませんが、地表面では40.5 から33.4 へ7も下がり、全体に涼しく感じられました。

打ち水は30分くらいで終了しましたが、参加した皆さんには、打ち水で使ったジョウロや水鉄砲、エコバックとお菓子が配られ、楽しかった打ち水大作戦は終了しました。



エコクリーンキャンペーン2009 エコスポット事業6周年記念 イベントキャラバン開催!

平成21年7月5日(日)戸越銀座銀六商店街のお休み処前で「エコスポット事業6周年記念/イベントキャラバン」が開催されました。(18～19日に立会川駅前などでも開催)

このイベントキャラバンは日頃の区民のエコ活動への協力に感謝する意味も込め、エコスポット事業6周年記念として開催されたものです。



オープニングでのダンスとミニコンサートの後、先着100名に区商連デザインのエコバッグが配られました。



(配布は2回で計200名) エコスポットとは空缶回収機



のことで、品川区内では現在、商店街など9箇所に設置されており、品川区内で年間約300万本が回収されています。エコスポットに空缶を投入するとポイントカードにポイントが加算され、一定のポイントが貯まると品川区共通商品券と交換できるというものです。こういった地道な活動の継続が、私たちの周りの環境維持につながるのですね。



ジャガイモを収穫しました



7月16日(木)戸越台中学校園芸部の生徒8人が終業後、顧問の山本秀司先生の指導の下、学校の農園でジャガイモの収穫を行いました。



山本先生は「気温が30以上になり、つるが枯れるころに収穫する。つるが土の面から出ている周りをスコップで掘るのだよ。土の表面を掘るとジャガイモに傷をつけてしまうので、空いた部分になすやピーマンも育っているのだから、間違ってもそれを抜かないように」といった注意をします。全員和気あいあい、楽しく掘って行きました。

結果はご覧の通りで、300個ほどのジャガイモが収穫できました。

3月に蒔いた種が今、こんなに大きなジャガイモに成長した驚きと、たくさん収穫できたことに生徒たちは満足顔でした。



「野菜や植物を育てるのは楽しい」という生徒の声は、自然に親しみ、自然を大切にす心の表れと思えました。

環境記者活躍中

環境記者 朝陽丘ひかりさんの投稿記事です
大崎の路地を散歩中に目にした風景を届けていただきました

いちじく

大崎の路地を散歩中、ふと空を見上げると、青々とした緑色の大きな葉の中に幾つもの実が実りはじめていました。まだ緑色のイチジクの実。イチジクは漢字で「無花果」と記します。



その名の通り、花が無い果実。花を咲かせる事なく実る果実のイチジクは不思議な果実。熟れると赤紫色に色づいて甘い果実になります。

イチジクは 熟れると紅く 花は無し

ヤマトシジミ

大崎広小路駅の線路沿いに蝶が舞っていた暑い夏の朝。ヤマトシジミです。全国に生息し、普通に見られる種類の蝶で、色は灰色ですが羽根の模様が印象的です。



ヤマトシジミという名は、二枚貝のシジミにも同様の名前を持つヤマトシジミ(大和蛸)があり不思議な感覚ですが、チョウと貝類で同じ名前を持つ種類は複数あります。

同じ名の ヤマトシジミは 蝶と貝

環境記者募集中

環境情報活動センターでは現在区民「環境記者」を募集しています。花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を環境記者

として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。詳細は環境情報活動センターまで(TEL5742-6533)